

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -143	2024/8/27	Austal to Pay \$24M Fine in Deal with DoJ, SEC Over Accounting Fraud Case	【オースタル社不正会計事件和解】 オースタル社は不正会計事件で司法省、証券取引委員会と和解し、罰金2,400万ドル(約35億円)を支払う	USNI News 2024/8/27	 インディペンデンス級LCSを建造しているオースタルUSA社が、会社の財務諸表を操作して、投資家を欺くために意図的に収益とコストを操作していたことが発覚し、司法取引で罰金を支払うというニュースです。	岩崎洋一
2024 -144	2024/8/27	Setbacks in the Royal Navy's effort to get newly acquired auxiliary ships into service	【英海軍補助艦隊事情】 新造補助艦就役に向けての英海軍(RN)の努力の挫折	NAVY LOOKOUT 2024/8/27	 補給艦等が所属する英国補助艦隊が艦の可動率維持に苦慮しています。機雷掃討具母船として購入した商船の信頼性が低く、修理費も高額なため非可動状態になりがちなことに加え、根本的に補助艦隊に所属する船員が不足しているため、運用優先順位の高い補給艦の運用にも影響を及ぼしているようです。艦艇乗組員不足はこの海軍でも共通の悩みのようです。	佐々木司
2024 -145	2024/8/28	Our Best Look At China's Stealthy Experimental Corvette	【中国実験艦情報】 中国のステルス実験コルベットのベスト・ルック	The WARZONE 2024/8/28	 中国が実験的なステルス・コルベットを建造したのではないかと、という記事です。写真からは非常にRCSが低そうな外観が見て取れます。もがみ型FFMを一回り小型にした艦のような感じですが、FFMIに非常に似ていると思います。	川原梅三郎
2024 -146	2024/8/20	Careening	【アフロートでの船底掃除方法】 カリーニング	Wikipedia 2024/8/20	 乾ドックがそれほど一般的ではなかった帆船時代の、興味ある船底清掃方法をWikiから紹介します。	岩崎洋一
2024 -147	2024/8/16	China Naval Modernization: Implications for U.S. Navy Capabilities—Background and Issues for Congress	【中国海軍CRS報告書】 中国海軍力の近代化：米海軍力への影響—背景と議会への問題提起	CRS REPORT 2024/8/16	 米議会調査局(CRS)報告、「中国海軍力の近代化：米海軍力への影響—背景と議会への問題提起」の2024.8.16付更新版の訳です。中国海軍の概要を知る上で参考になると思います。	岩崎洋一
2024 -148	2024/8/30	U.S. Navy Comments on FFG 62 Frigate's Lack of Tracker Illuminator System and Design Changes	【米FFG62情報】 米海軍、FFG62フリゲート艦の追尾照準システムの欠如と設計変更に関するコメント	Naval News 2024/8/30	 米海軍が建造中の新型フリゲートConstellation 級には、ミサイル誘導用のイルミネーターが装備されておらず、使用ミサイルはアクティブホーミングのミサイルに限定されるようです。なぜそのような設計にしたのかは記事から読み取れませんが、コスト低減対策なのでしょう。艦の防空を発射後のミサイルに「完全お任せモード」にするのは心配な気がします。	佐々木司
2024 -149	2024/7/18	Will new submarines honour Canada's NATO commitment to increase its defence spending?	【加次期潜水艦運用関連】 新型潜水艦は、国防費増額というカナダのNATOへの約束の名誉を与えるものになるのでしょうか？	THE CONVERSATION 2024/7/18	 NATO首脳会議の際、カナダ政府は次期カナダ潜水艦調達のRFIをまもなく発出することを公にしました。本件、長らく追跡してきましたが、実運用に即した考察をした論説は、これまでありませんでした。しかし、本編は、辛辣な批評を含めながらも、非常に重要な運用に付随する考慮事項を指摘しています。今後の潜水艦の調達先選定作業において、これらの指摘事項が如何に考慮されるかを、注目していきたいと思っています。	本山泰之
2024 -150	2024/9/3	How Navy chiefs conspired to get themselves illegal warship Wi-Fi	【米海軍軍律違反事例】 海軍の前任海曹たちはいかにして違法な軍艦Wi-Fiを手に入れようと共謀したか？	Navy Times 2024/9/3	 海自艦艇に魅力化対策のため、スターリンクとWifiを導入して乗員が艦内でもインターネットを利用できる動きがありますが、米海軍の艦艇で、前任伍長が中心となって前任海曹室に勝手にスターリンクとWifi環境を導入し、行動中にもインターネットが使用できるようにしていた事案がありました。よく見つからずに工事ができたものです。詳細な経緯がわかります。	佐々木司
2024 -151	2024/6/14	Are we sure China views sea power the same way the West does?	【中国海軍分析】 中国は西側諸国と同じようにシーパワーを見ているという確信があるのだろうか？	Defense News 2024/6/14	 米海軍中佐と英海軍中佐による論説であり、中国のシーパワーを理解するための3つの質問を提示して、それに答える形式によりその差異について改めて解説しています。中国人民解放軍と西側海軍との一般的な違いの中で、数か所に「ミラーリング」という言葉が出てきます。単純に「真似る」とも捉えられますが、実は全く異なった視点を持つことに注意する必要があります。表題のとおり、その視点はやはり異なるというものです。	工藤悟
2024 -152	2024/9/4	Constellation-class: the US Navy's struggle to forge a new generation of frigates	【米新FFG分析】 Constellation級：新世代のフリゲート艦を開発する米海軍の苦闘	NAVY LOOKOUT 2024/9/4	 米海軍の新型フリゲートConstellation計画に関する英国目線での論説記事です。他の記事にもあるように、FREMMをベースとしながら、大幅な設計変更を加えたことによる計画の遅延と価格の高騰を指摘しています。一方で英海軍のType26をベースとしていればもっとうまくいったのではないかと手前味噌な論評が見られます。Constellationはこの先どうなるのでしょうか。	佐々木司
2024 -153	2022/6/1	The Iowa-Class Battlecarrier: A Design that Never "Took Off"	【アイオワ級戦艦改造計画】 アイオワ級バトルキャリア(航空戦艦)：「発艦」しなかったデザイン	Naval History 2022/6/1	 実現はしなかったものの、この種の検討はまさに艦船装備幹部が担うべき夢のある話です。海軍歴史マガジン 2022.6月号から。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -154	2024/9/12	How a sailor shortage is crippling ship maintenance at sea	【米海軍乗員整備能力問題】 乗員不足により、洋上での艦上整備がどれほど低減しているか	DefenseNews Naval 2024/9/12	 米国の保安と、自由で開かれた世界の海洋を維持する米海軍の艦船は長期派遣任務を行うため、乗員整備能力の重要性が米国議会軍事委員会でも認識されている。しかし、米海軍はこの過去30年間の厳しい予算状況のため、修理設備の削減や乗員削減等を行った結果、乗員整備能力が下がっていることを指摘され、海軍はその対策を行ってきたが、議会がその効果の評価をGAOに指示し、その報告書がこの記事である。記事からは、海自でも共通する課題と考えられるが、GAO報告書の議会議長あての手紙本文(記事抄訳の後に記載)から、調査の深さと真剣さが伺える。	清水隆
2024 -155	2023/1/1	Just-in-Time Production	【WWⅡ戦訓】 ジャスト・イン・タイム(時宜を得た)建造	Proceedings 2023/1/1	 1年半前のプロシーディングス誌エッセイですが、最優秀賞だけあって、平易な文章で説得力があります。要旨は、ミッドウェー海戦での勝利は平時における艦艇建造によるものだったということ、そしてその教訓が今のインド太平洋地域で現実のものになっている、という話です。巻末に読者コメントも付け加えました。	岩崎洋一
2024 -156	2024/9/18	CNO Franchetti War Plan Preparing Navy for Pacific Conflict by 2027 With Flat Budgets, Static Fleet Size	【米海軍戦略】 フランケッティCNOのウォー・プランは、予算も艦隊規模もそのまままで2027年までに太平洋での紛争を海軍に備えさせる	USNI News 2024/9/18	 CNOが発表した「Navigation Plan 2024」の中身の概説です。2027年までに水上艦、潜水艦、航空機について80パーセントの即応態勢を達成し維持する、と言っていますが、現在の整備遅れ(全艦合計で7.4年の遅れ?)などから見て、絵に描いた餅のような気がします。最後の方でアナリストのブライアン・クラークが、380隻艦隊を維持するには予算が20%不足していると指摘しています。(下線は訳者)	岩崎洋一
2024 -157	2024/9/17	Government of Canada announces progress on the Canadian Patrol Submarine procurement	【加次期潜水艦RFI公報】 カナダ政府、カナダ哨戒潜水艦調達の見通しを発表	Public Services and Procurement Canada 2024/9/17	 本年7月のNATO首脳会議に合わせ発表された、カナダ政府の次期カナダ潜水艦の調達に関する第2の公報です。これはカナダ公共事業・調達省からのRFIの発出であり、回答期限は11月18日、要求事項の記載もあります。2年近く本計画の推移を追ってきましたが、ここに来て強調され始めた北極圏運用に関する、具体的な要求は依然判然としません。北極圏運用は、その経験は米英露しかないと思われ、潜水艦設計への大きな課題でもあります。引続き調査を進めようと思います。	本山泰之